はじめに

一方、大山は土砂の生産、下流への流出が激しく、客が訪れるレクリエーションの場となっています。れた山陰の名山です。古くから修験者の修行の場としれた山陰の名山です。古くから修験者の修行の場とし崩壊地が見られるなど、剛柔を備え豊かな自然に恵ま崩壊地が見られるなど、剛柔を備え豊かな自然に恵ま野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定した穏やかな形をしていますが、北や南野を広げ安定している。

本谷奥)

生の進入が困難なこともあり、頂上の稜線を境に存在更に、斜面は急傾斜で土砂が留まることができず植絶えず崩れて不安定な土砂を生産しています。環境で繰り返される凍結・融解により亀裂が生じ易く、されていますが、風化しやすい安山岩で高山の厳しい過去の火山活動により山頂に大型の溶岩ドームが形成古くから繰り返し災害をもたらしてきました。大山は、

管内概要

: 大正9年施工の大山(佐陀川)第11号堰堤(平成:ほとんどが人力施工による工事の様子(昭和初期、

鳥取森林管理署は鳥取県下一円を管轄区域とする2市12町の国有林約3万1千へクタールを管理経営しています。

管内国有林は、中国地方の最高峰の大山や二番目に高い氷り山をはじめ、秀吉の鳥取城攻めで有名な本陣山(旧城山国有林)等多様な森林を有し、多くの市民や登山客、観光客等に利用されています。

また、大山周辺には、西日本最大規模のブナ林 に代表される原生的な天然林が広がっていますが、

近年、当地域ではナラ枯れ被害が拡大しており、鳥取県、関係市町と連携しながら 蔓延防止等の対策に取り組んでいます。



が大正6年に治山事業に着手し、

このため、旧大阪大林区署

(現近畿中国森林管理局)

以来100年、

)変化に対応しながら今日まで継続して、 山地災害の

地域の安全・安心の確保に努めています。

があり、よする北壁、

㎡におよび、不安定土砂は約80万㎡と推定されていま

流出土砂は全国有数の規模である年間約7万

南壁等を含む一帯には、

236 hの荒廃地

所	在地	鳥取県鳥取市東町2丁目325
区	域 面 積	350,705ha
う	ち森林面積	258,782ha
国	有 林	31,446ha(国有林率 12.2%)
管轄区の関係市町村		2市12町

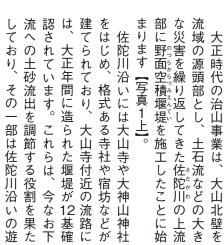
鳥取森林管理署HPアドレス: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/index.html



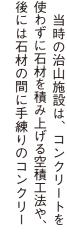
18



大山西側斜面、大の沢の山腹工と渓間工群(左:平成 12年、右:平成 28年)



大正時代の治山事業



歩道からも見ることができます。



メント工法 (内部材投入の様子)



天然石張型枠(石積模様)の施工状況

真1左]。 人々の苦労が偲ばれるところです【写 う時代でした。当時、工事に携わった げや土砂の掘削も作業は全て人力で行

たことです。

このため、

現地の土砂を活用し短期

いった建設機械は無く、石材の積み上 在のように、クレーンやバックホウと

周辺では砂防、道路など様々な対策工

期間が年間6ヶ月に限られる、③大山

事が行われることから、工事最盛期に

コンクリートの供給が不足するといっ

トを充填した練積工法などでした。

今日の課題と取組

安定化が図られた地域では植生の回復 腹工も13ヵ所16・3mを施工しており、 め300基を超えています。 は、長さ200mを超える大堰堤も含 が期待されるところです【写真2】。 大山でこれまでに整備した治山施設 また、

ころです。 おいて継続して治山事業を行っていると から対策が求められており【写真3】、 止めとなるなどの被害が発生すること 雨のたびに流出し、下流の県道が通行 荒廃地等で多量の土砂が生産され、大 大山国有林を管轄する鳥取森林管理署に しかしながら、

②2mを超える豪雪の影響により施工 ら大量に発生する土砂の処理を要する、 大きな課題があります。 大山では、施工上克服すべき3つの ①地質的特徴か

山

を行いました【写真4】。

結果、堰堤の内部材が安価に施工で

法)を試験的に施工し、有効性の検証

現在でも頂上付近の

に積極的に取り組んでいます

[写真5]。



ないソイルセメント工法

(現地発生土

セメント、水を現場内で攪拌混合 敷均し転圧して施設を構築する工

間で施工でき、コンクリートを使用し

要でコンクリート工法と比べ約6%と 型枠を採用するなど、自然景観との調和 リートの表面に石積模様を施した化粧 工に当たっては自然石の利用やコンク きるとともに、内部材の養生期間が不 区等に指定されており、治山施設の施 導入を図りたいと考えています。 れました。今後、検証を重ね本格的な 大幅に工期を短縮できることが確認 また、当地域は国立公園、鳥獣保護

様のご理解とご協力が不可欠です。 る事業であり、その推進には地域の皆 で安心できる豊かな暮らしの実現を図 山地災害から生命財産を保全し、安全 当事業が100年を迎えるに当たり 治山事業は森林の維持造成を通じて

高めるため今後も取組を推進して参り

いてきた地域の安全・安心をより一層

上げるとともに、先人の努力により築 これまでの関係者のご協力に感謝申し